

“私たちの供給する商品を中心に
家族の団らんがはずむこと”を
めざします。

組合員数 275,903世帯

県内全世帯に対する加入率 58.1%

一人平均出資金額 18,476円 (9月21日現在)



10月
529号

4回

発行 生活協同組合 コープみやざき 理事会
所在地 〒880-8530 宮崎市瀬頭2丁目10番26号
電話 (0985)32-1234 FAX(0985)32-3355
ホームページアドレス <https://www.miyazaki.coop>

自分へのごほうび

その2

化粧品

日向市の組合員さん(30代)

美容が好きなので、月に1回、化粧品屋に行きます。12月末には、1年間がんばった自分へのごほうびにちょっと高級な化粧品を買います。

これこれ!

延岡市 Y・Kさん(50代)

夫に聞いたら、「これこれ」と!今食べている(休日の昼)鳥のタタキでした(笑)私も好きな食べ物ですね～。好きなものいろいろあって…(笑)

温泉

宮崎市の組合員さん

温泉に行くことです。都城の山田温泉かかしの湯ぽっぽに行って、ゆっくりお湯につかってリフレッシュもできていいです。宮崎市内から1時間くらいかかりますが、ドライブ気分で出かけられてこれもいいです。



今は、スマホにたくさん保管してあり、アルバムが作ってあると思います。今回、80年代や90年代の写真を整理していつでも見たいと感じたことがあります。

写真の整理

西都市 M・Mさん

(70代)

もう暑くて何もしたくない!という毎日です。老眼で本も読めない日々。そんな時、スマホで久々に昭和ポプスを聞いてハマりました。百恵ちゃんの歌、たまに声に出して歌っています。元気になります!

ハマりました

日向市の組合員さん

日向市の組合員さん (70代)

今年は今までにないくらい毎日へべス食べています。というのも、テレビに日向の女性たちがでていろんな食べ方を紹介していたからです。魚・肉・酢の物・スープ・ボン酢・牛乳や炭酸割りなどなど…こんなに旨かったとは!

今までにないくらい

日向市の組合員さん (70代)

先日、にじのわ(7月4回)でショウガと薄揚げの炊き込みご飯を教えてくださいました。とてもおいしくて毎回炊いています。帰ってきた娘家族もお気に入りでした。簡単でおいしいです。教えてくださいました。ありがとうございます。

毎回炊いています

宮崎市の組合員さん (80代)

ですが、秋刀魚と大根おろしで食べたいですね。昔は秋刀魚の香りが漂ってくるのも当たり前でした。近所からおいしい香りが届くかもしれませんね。

明るい話題を

小林市の組合員さん

宮崎市の組合員さん (70代)

オクラの花

食べられるオクラの花をご存じですか?早朝に収穫してなり口を切り落とし、広げるときれいな花びらに。これに何でも巻いたりのせたりして食べます。特に味はありませんが、パクパクと食べられます。細かく刻んでマヨネーズ・かつお節・しょうゆで納豆のようにしても美味です。

秋を感じました

宮崎市の組合員さん (50代)

秋刀魚の香り

宮崎市の Y・Kさん (70代)

今年は秋刀魚の当たり年だと聞きました。初物はま

自治会で敬老会が開催されました。役員の皆さまがいろいろと企画してくださり、楽しい会となりました!最後に参加者のあいさつを私がすることになっており、緊張しましたが無事に終わりました!

実家の母に栗をもらい、茹でて食べました。あまくてホクホクして、とてもおいしかったです。秋を感じました。

ピースアクションinヒロシマ・ナガサキに参加しました

主催:日本生協連・生協ひろしま・ララコープ

2025年8月4~6日のヒロシマ、8月7日~8日のナガサキで開催された、「ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ」に参加しました。全国の生協からは、93生協より約5200人が集まり、コープみやざきからは組合員さんとそのご家族が計5人と事務局2人が参加しました。

戦後80年となる年に、現地で被爆経験者の方からのお話や、慰霊碑・被爆した建造物を見学することができた、貴重な体験をすることができました。



ヒロシマの碑めぐりをしました。碑めぐりでは原爆ドームをさいしよに見ました。鉄きんとコンクリートでできている広島産業しょうれい館(現原爆ドーム)は鉄きんとコンクリートのみに、中を見ても、階段のようなものも、ゆかえもなく、地面にゆかのようなものが落下していました。このようなことがもう2度とおこらないで、平和な世界になることを願っています。(参加者 小学4年生)

室内碑めぐりで、たくさんのことを知り、実際にガイドさんに外で説明してもらって、広島で起きた原爆のことについて前よりも知れるいい機会になりました。原爆で亡くなった人の多くは、まだ名前がわかっていなかったり、遺族に引き取ってもらえてなかったりすること、日本人だけではないこと、佐々木禎子さんのこと、初めて知りました。原爆のことは、忘れてはいけない大切なことだから、語りついでいこうと思いました。(参加者 中学1年生)



9月上旬に線状降水帯が発生した日の夜10時過ぎ、近所の方から1本の電話がありました。わが家の敷地の木が倒れて道をふさいでいるとのことでした。急いで行ってみるとそこには驚くほど巨大な木が横たわっていました。その木は樹齢こそわかりませんが、平成29年に県の巨木100選に選定されていた樹高25メートルのハマセンダンで、幹の太さは25センチほどでした。根の腐朽もなく、幹もしっかりしていました。太い根が少ないように感じました。大量の雨で地盤が緩み、耐えられなかったのか倒れました。立っていた時にはそれほど感じませんでした。横たわる木を間近で見るとその大きさに驚きと長い年月がもたらした生命力を感じました。愛の念を抱き「お疲れ様でした」と幹に手を当ててつぶやきました。夜も遅かったのですが、市の危機管理災害支援課に電話をかけるとすぐに駆け付けてくださいました。とにかく早く通行できるようにと手配していただき、翌朝8時には撤去が始まりました。お酒とお塩をかけてからのことでした。

(き)

